

ばれいしょ

担当者 技能研究員 泉谷 雅俊

試験課題名	品種栽培展示圃
目的	食用、加工用の品種における栽培特性を比較、検討し生産技術の普及に資する
期待される成果	各品種の特性を把握するとともに、輪作体型と作付け指標に沿った計画的な作付けを推進する
連携機関	上川農業改良普及センター士別支所 JA北ひびき和寒基幹支所 和寒町蔬菜組合連合会芋部会

1 供試品種・資材

品種

※農林一号 男爵薯 ワセシロ トヨシロ キタアカリ インカのめざめ
HP 01 メークイン

※基準品種

2 耕種概要

土質～埴壤土

前作～大豆・小豆

浴光催芽～4月24日

植え付け日～5月17日

収穫日～9月4日

栽植密度

A区 標準栽培	農林一号・男爵薯・キタアカリ ワセシロ・トヨシロ・インカのめざめ	畦幅 75cm×株間 30cm	4,444株/10a当たり
B区 密植栽培	農林一号・男爵薯・キタアカリ ワセシロ・トヨシロ・HP 01	畦幅 75cm×株間 27cm	4,938株/10a当たり
	キタアカリ・メークイン	畦幅 75cm×株間 25cm	5,333株/10a当たり

3 土壤診断結果と施肥量

(1) 土壤診断結果

(mg/100g)

pH	EC	P ₂ O ₅	K ₂ O	MgO	CaO	熱水抽出N
6.2	0.047	54.4	25.6	63.7	223.3	6.0

(2) 土改資材と堆肥 (kg/10a)

炭カル～0kg

(3) 施肥内容 (成分量/%)

基肥～S 0 5 3 (10 - 15 - 13) 5月16日 全層施肥

(4) 肥料の要素量

(kg/10a)

		N	P	K
基肥	S 0 5 3 80kg	8.0	12.0	10.4
合計		8.0	12.0	10.4

4 調査項目

生育調査～浴光催芽始・植え付け・萌芽始・萌芽期・萌芽率・初期生育(6月20日)
着蕾期・開花期・茎葉黄変期・枯凋期・疫病指数

収量調査～総収量・規格内割合・M以上の製品率

5 生育調査

A区(標準栽培)

項目	品種	4,444株/10a当たり					
		農林一号	男爵薯	キタアカリ	ワセシロ	トヨシロ	インカのめざめ
浴光催芽始		4月24日					
植え付け		5月17日					
萌芽始		6月1日	6月1日	6月6日	6月2日	6月6日	6月7日
萌芽期		6月6日	6月6日	6月7日	6月11日	6月11日	6月11日
萌芽率(%)		92.5	89.1	89.3	90.7	89.5	90.7
初期生育・6月20日(良5~不良1)		3	3	3	3	3	2
着蕾期		6月18日	6月19日	6月19日	6月26日	7月1日	7月3日
開花期		6月28日	6月30日	6月30日	7月5日	7月11日	7月10日
茎葉黄変期		7月28日	7月30日	7月29日	8月5日	8月10日	8月10日
枯凋期		8月24日	8月24日	8月23日	8月30日	8月31日	8月31日
疫病指数(多5~少1)		3	3	3	3	2	2

B区(密植栽培)

項目	品種	4,938株/10a当たり					5,333株/10a当たり		
		農林一号	男爵薯	キタアカリ	ワセシロ	トヨシロ	HP01	キタアカリ	メークイン
浴光催芽始		4月24日							
植え付け		5月17日							
萌芽始		6月7日	6月2日	6月5日	6月5日	6月8日	6月7日	6月2日	6月11日
萌芽期		6月12日	6月6日	6月11日	6月11日	6月12日	6月11日	6月7日	6月15日
萌芽率(%)		90.1	94.6	87.1	87.6	90.0	96.5	91.6	74.3
初期生育・6月20日 (良5~不良1)		3	3	2	3	3	3	3	2
着蕾期		6月23日	6月22日	6月25日	6月24日	7月1日	6月28日	6月21日	7月1日
開花期		7月6日	6月30日	7月6日	7月4日	7月11日	7月6日	7月3日	7月11日
茎葉黄変期		8月7日	7月28日	8月6日	8月1日	8月13日	8月6日	8月4日	7月27日
枯凋期		8月31日	8月22日	8月30日	8月20日	8月31日	8月27日	8月30日	8月30日
疫病指数(多5~少1)		2	2	2	3	2	2	3	2

6 収量調査

A区(標準栽培)

項目	品種	4,444株/10a当たり					
		農林一号	男爵薯	キタアカリ	ワセシロ	トヨシロ	インカのめざめ
総収量	(kg/10a)	7,288	6,932	4,888	7,021	7,732	5,377
規格別収量 (kg)	3L以上	579	1,111	611	888	1,199	677
	2L	1,062	1,066	684	2,222	1,375	1,166
	L	1,872	1,046	430	1,155	1,477	933
	LM	2,177	1,286	875	513	1,550	895
	M	577	1,313	611	311	755	329
	S	666	666	655	155	577	266
	外品	355	444	1,022	1,777	799	1,111
M以上の製品率(%)		86.0	84.0	65.7	72.5	82.2	74.4

B区(密植栽培)

項目	品種	4,938株/10a当たり					5,333株/10a当たり		
		農林一号	男爵薯	キタアカリ	ワセシロ	トヨシロ	HP01	キタアカリ	メークイン
総収量	(kg/10a)	6,320	8,888	6,666	8,542	6,863	7,407	6,932	7,412
規格別収量 (kg)	3L以上	296	839	1,035	1,283	790	0	909	0
	2L	864	1,778	1,132	2,173	1,539	691	1,048	899
	L	2,075	2,766	1,089	1,385	1,334	2,569	1,019	709
	LM	1,481	790	1,083	691	1,373	1,678	1,042	1,119
	M	543	790	491	493	495	888	1,036	793
	S	444	740	424	345	493	791	609	799
	外品	617	1,185	1,412	2,172	839	790	1,269	3,093
M以上の製品率(%)		83.2	78.3	72.5	70.5	80.6	78.7	72.9	47.5

※規格 3L 260g以上 2L 190~260g未満 L 130~190g未満 LM 90~130g未満 M 70~90g未満 S 70g未満

7 病害虫防除履歴

殺虫剤			殺菌剤		
8月6日	オルトラン水和剤	1,000倍	7月25日	ダコニールエース	1,000倍
8月13日	ベジホン乳剤	1,000倍	8月13日	フロンサイド水和剤	1,000倍

8 試験結果概要

(1) 生育経過

- ① 浴光催芽を4月24日に始め、5月15日バシタック水和剤75で消毒後種芋を切り、5月17日に全品種を植え付けた。
萌芽期はA区(4,444株)で農林一号と男爵薯が6月6日に始まり、1日遅れてキタアカリ6月7日、ワセシロ・トヨシロ・インカのめざめが5日遅れの6月11日となった。
- ② 着蕾期(A区)は6月18日農林一号が始まり、1日遅れて男爵薯、キタアカリが6月19日に確認され、ワセシロは6月26日で農林一号より8日遅れて着蕾期を迎えた。

(2) 収量調査結果

- ① A区(4,444株)の10a当たり総収量は、トヨシロが7,732kg、ワセシロは7,021kgと高収量となった。M以上の製品率では、トヨシロ82.2%で6,356kg、農林一号の製品率はやや高く86.0%で6,268kgとなった。
- ② B区(4,938株)の10a当たり総収量は男爵薯が8,888kg、ワセシロは8,542kgと高収量となった。製品率では男爵薯78.3%で6,959kg、ワセシロの製品率はやや低く70.5%で6,022kgとなった。

(3) 考察

農林一号と男爵薯、キタアカリを栽植密度の栽培内容で比較するとB区の密植栽培(4,938株)の男爵薯とキタアカリは総収量と規格別収量でも、A区の標準栽培より良い結果となった。
特にM以上の製品率では、キタアカリがA区の65.7%に対し、B区(4,938株)が72.5%、B区(5,333株)72.9%と密植栽培がやや高まる傾向となった。